

発掘調査実績調書

氏 名

1 発掘調査(現場作業)経歴

No.	従事期間	遺跡名(所在地)	調査機関名	業務内容
(例)	令和2年5月10日～ 令和2年11月9日	〇〇遺跡 (〇〇県〇〇市)	〇〇大学 文学部史学科	遺構掘削、測量、 測量撮影
1				
2				
3				
4				
5				

※ 記入上の留意事項

- ① 従事した発掘調査(現場作業)を新しい順に5件記載してください。
- ② 「従事期間」は、申込者が実際に発掘作業に従事した期間を記載してください。
- ③ 「遺跡名(所在地)」は、遺跡が存在する都道府県名と市町村名を記載してください。

2 発掘調査報告書執筆歴

No.	報告書名	発行機関	発行年月日	内容・執筆項目
(例)	〇〇遺跡発掘調査報告書	〇〇大学 文学部考古学研究室	令和2年 11月20日	部分執筆 第3章第2項 弥生時代の遺構 第4章第2項 弥生時代の土器
1				
2				
3				
4				
5				

※ 記入上の留意事項

- ① 執筆に関わった発掘調査報告書を新しい順に5件記載してください。
(執筆経験がない場合はその旨余白に記載してください。)
- ② 「報告書名」は、主なタイトルを記載してください。
- ③ 「発行機関」は、奥付に記載されている発行機関名を記載してください。
- ④ 「内容」は、編集、全部執筆及び部分執筆の別を記載してください。
「部分執筆」の場合は、該当章項目とタイトルを記載してください。

学芸員職務経歴調書

氏 名

1 学芸員職務経歴調書

勤務先 所在地	所属・役職名	職務内容	在職期間
			平成・令和 年 月 日から 平成・令和 年 月 日まで (期間 年 月)
			(休職等期間 年 月) (理由:)
			平成・令和 年 月 日から 平成・令和 年 月 日まで (期間 年 月)
			(休職等期間 年 月) (理由:)
			平成・令和 年 月 日から 平成・令和 年 月 日まで (期間 年 月)
			(休職等期間 年 月) (理由:)
			平成・令和 年 月 日から 平成・令和 年 月 日まで (期間 年 月)
			(休職等期間 年 月) (理由:)
			平成・令和 年 月 日から 平成・令和 年 月 日まで (期間 年 月)
			(休職等期間 年 月) (理由:)

【記入上の注意】

- 必ず本人が入力してください。
- 令和 8 年 4 月末時点までの正職員として勤務していた期間のみ入力してください。
- 第2次試験の参考資料となりますので、正確に入力してください。

【学芸員職務経歴書】

- ・勤務先(所在地)
勤務先の名称と所在地(市区町村名まで)を入力。
- ・所属・役職名
部・課・所等の所属名、役職名を入力。
- ・職務内容
当該勤務先における職務内容を具体的に記入。
- ・在職期間
当該勤務先における在職期間を入力。(1月未満の日数は切り捨ててください。)
※休職等期間の理由には、在職期間のうち連続して1か月を超えて職務に従事していない期間(産前産後休暇を除く)がある場合に入力し、「(期間 年 月)」には、休職等期間を除いた期間を入力すること。